

ご 挨 拶

皆様、第33回全国社会人躰道優勝大会へのご参加、誠にありがとうございます。

本大会には、多忙な日常を送りながらも練習に励んできた多くの社会人選手が参加されています。皆様の努力と情熱に、深い敬意を表します。

近年、世界は多くの挑戦と変化に直面しており、新型コロナウイルスの影響、急速なデジタル化、環境問題など、私たちはこれまで以上に多様な問題に立ち向かう必要があります。このような時代において、躰道を始めとする武道の価値が改めて見直されています。

躰道は、技の修得を通じて体力や技術の向上を図ると同時に、自己反省と内面の強さを培うことができる総合的な武道であります。特に、現在のような不安定な社会情勢において、躰道の修練を通じて得られる心の平静や冷静な判断力は、困難な状況においても正しく行動できる対応力、他者への敬意を忘れずに対応できる人間力に繋がるものであり、現代社会を生き抜く上で非常に重要なものであると思います。

さらに、躰道はコミュニティの形成にも大きな役割を果たします。道場での稽古を通じて、年齢や性別を超えた仲間との絆が深まり、互いに切磋琢磨し助け合うことを学ぶことで、社会生活においても協力し合う精神が培われます。このような経験は、日常生活においても大いに役立ち、私たちが直面する様々な問題を乗り越える力となってくれるでしょう。

このように、社会人選手の皆さんにとって、躰道は単なる趣味やスポーツの一環ではなく、自己成長のための重要な要素であり、社会還元の一環であります。皆さんの中で生きている躰道が、周囲の人々にとっても大きな支えとなり、他者を尊重し共に成長するその姿勢が、社会全体の調和と発展に寄与するものであると信じております。

最後になりますが、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただいた関係者の皆様に深く感謝するとともに、本大会が成功裏に終わることを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

令和6年8月

第33回全国社会人躰道優勝大会
大会会長 山田 重幸